

「献体を用いた婦人科手術における医師に対する臨床解剖学教育および臨床解剖研究の実施」に対する ご協力のお願い

研究責任者 増田 健太
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 産婦人科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

研究実施許可日より西暦 2027 年 12 月 31 日までの間に、慶應義塾大学篤志会会員で、死後、医学の進歩、発展のため、医学の教育または研究に献体する旨を本人および親族が承諾している方

2 研究課題名

承認番号 20241129

研究課題名 献体を用いた婦人科手術における医師に対する臨床解剖学教育および臨床解剖研究の実施

3 研究組織

<u>研究機関</u>	<u>研究責任者</u>
<u>慶應義塾大学医学部産婦人科学教室</u>	(職位) (氏名) 専任講師 増田健太

4 本研究の目的、方法

近年の科学技術の急速な進歩により、医療技術や医療機器、医療を取り囲む社会環境が大きく変化をとげております。このような状況の中で、手術を行う外科医にとっては、これらの進歩に応じて、医学的知識のみならず、手術技術の向上が求められます。しかしながら、これらの知識や技術を多くの医師が十分に習得することは困難であり、難しい手術ほど若手医師の手術技術習得の機会は限定的とならざるを得ない状況にあります。そのため、これらの解決策として、臨床解剖学的知識ならびに手術手技向上を目指した教育やトレーニングが必要と考えられます。本研究の目的は、慶應義塾大学篤志会（献体の会）のご献体を用いて、婦人科手術における医師に対する臨床解剖教育および臨床解剖研究を実施することを目的とすることです。

方法は、既に医学部倫理委員会で承認されている研究課題「医師に対する献体を用いた臨床解剖学教育および臨床解剖研究の実施（承認番号：20070026）」にご承諾頂いた慶應義塾大学篤志会（献体の会）のご献体を用いて、① 通常の腹部および骨盤底の正常解剖、② 医療および手術手技に即した臨床解剖および手術シミュレーション（開腹下、鏡視下、経膈的）、③ 基礎的研究および新しい医療手技、手術手技、医療機器、手術器具開発のための臨床解剖および手術シミュレーション、④ 医師（学外の医師も含む）を対象とした臨床解剖および手術手技セミナーの開催、等を行います。

5 協力をお願いする内容

婦人科手術における婦人科医への臨床解剖教育および臨床解剖研究を実施させていただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 12 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当せず

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実務責任者 増田 健太

研究機関名 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL : 03-5363-3819

FAX : 03-5363-0249

以上